

## 〔これまでの取り組み〕

### 長期的なターゲット

『「街の魅力」と「技術の先進性」で、世界の交流の舞台となる  
「世界交流都市・名古屋」の方向性を、2020年までに確立する』

#### ① 中小企業支援

中小・小規模事業者への「伴走型支援」、  
「メッセナゴヤ」や各種商談会などのビジネ  
スマッチング支援

#### ② 次世代産業育成

「エアロマート名古屋」「メディカルメッセ」  
の開催や部品加工エトリアルの実施

#### ③ 都市力の充実、インフラの整備

空港・道路・港湾等の利用促進・整備への  
取り組み、まちづくりへの提言活動

➡ 「技術の先進性」という部分では、相応の実績を上げてきた。一方で『「街の魅力」で世界交流の舞台になる』  
という面については、目標達成には、まだまだ距離がある状況にある。

## 〔当地域の現況〕

- (1) 内外経済が回復基調にある中、当地の経済産業全体としては、他地域に比べても堅調。
- (2) 各産業での人手不足は大きな問題で、多様な人材の活躍促進やIT等による生産性向上が急務。
- (3) 2027年のリニア中央新幹線の先行開業を控え、名古屋都心部での商業施設等の建設・開業などが相次ぎ、  
都市の大きな変貌が始まっている。

## 〔10年後に向けた課題〕～新しい大きな変化のうねりと課題

### 1 デジタル革命等による大変革への挑戦

AI、IoT、ビックデータ等による急速なデジタル革命が、各産業のあり方を大きく変えつつあり、当地主力  
の自動車産業においても、EV化の動きや自動走行等による「百年に一度の大変革」の時代に入っている。  
こうした大変革に対し、当地産業全体として、新たな成長に向けた挑戦を加速していく必要がある。

### 2 ナゴヤにしかない魅力と個性に向けたまちづくりとエリアプロモーション

リニア開通に向け、ナゴヤが東京から求心力を持つような魅力と個性ある街となるために、10年後を見  
据え、目指すべき都市のあり方としては、「イノベティブで多様性に富んで躍動し、同時に、面白く、楽し  
く、内外から多くの人々が何度も訪れたいくなるような愛されるナゴヤ」になっていくことが、望まれる。次の3  
年間では、そのための具体的な戦略を策定し、実現へのステップを確実に踏み出す必要がある。



このような変化と課題の認識を踏まえ、次期3か年の中期計画は、2020年までの第4期計画  
であるとともに、2027年までの今後10年間へのスタートとなる中期計画と位置づけられる。

## 中期計画2018-2020

～「躍動し愛されるナゴヤ」をめざして～

### I. 企業力

中小企業の事業・経営支援

### II. 都市力

躍動し愛される名古屋へ

### III. 未来産業力

次世代産業発展・イノベーションの推進

# 中期計画 2018-2020

～「躍動し愛されるナゴヤ」をめざして～

2018(平成30)年2月

 名古屋商工会議所

# 中期計画 2018-2020 ～「躍動し愛されるナゴヤ」をめざして～

は新規事業  
は拡充事業

## I

### —企業力— 中小企業の事業・経営支援

#### 1 創業・成長・承継の一貫した支援

本部及び5支部の経営指導員による巡回指導・窓口相談は、商工会議所の基盤となる活動であり、質・量両面での一層の充実を進める。特に以下のテーマでの活動を強化する。

##### (1) 事業承継支援〔改正事業承継税制の活用促進等〕

今後10年間の「大承継時代」の中で、地域経済を支える中小企業の円滑な承継を事業引継ぎ支援センターと一体となって推進

##### (2) IT化の推進〔クラウド会計導入支援、おとりよせネット販売支援等〕

中小企業の生産性向上のため、IT活用に関する情報提供や具体的事業で支援

##### (3) 創業、経営革新の支援

創業から創業後の経営安定までの総合的な支援、及び小規模企業の経営革新へのサポート強化

##### (4) 事業再生支援 中小企業再生支援協議会の活動の充実

#### 2 ビジネスマッチングの促進

##### (1) 様々なビジネスマッチング機会の創出

- ① 全国有数の異業種交流展示会に成長した「メッセナゴヤ」の一層の発展
- ② 各種商談会を、メンバーとニーズに即して、より実効性の高いものへ充実させる。〔「アライアンスパートナー発掘市」、「売り込み!商談マーケット」等〕

##### (2) 農商工連携の推進

#### 3 人材の確保・育成、多様な人材の活躍推進

深刻な人手不足の状況に対して、以下の取り組みを進める。

##### (1) 人材の確保・育成等の支援〔名商就活ナビ、階層別講習会等〕

人材確保・育成への中小会員企業の強いニーズを踏まえ、合同企業説明会等の採用支援や各種講習会等の人材育成支援を、質・量ともに一層充実させる。

##### (2) 多様な人材の活躍推進〔異業種交流セミナー等〕

女性や外国人など多様な人材の活躍・活用の促進。

##### (3) 次世代産業人材の育成

〔「モノ+ガタリ」プロジェクト、少年少女発明クラブ支援等〕

将来の当地産業を支える人材育成のため、小中学校、高校でのモノづくり教育支援等を拡充する。

## II

### —都市力— 躍動し愛される名古屋へ

#### 1 まちづくりと、商業・サービス業振興、観光・誘客推進

##### (1) 「躍動し愛されるナゴヤ」に向けた取り組み

2027年まで今後10年の間に、ナゴヤにしかない個性と魅力ある街へと発展する道筋をつけるため、本年前半にも取りまとめを予定する「躍動し愛されるナゴヤ研究会」報告書の内容を踏まえ、次のような総合的な取り組みを推進する。

- ① 名古屋駅・伏見・栄の一体的発展に向けたまちづくり  
名古屋の将来発展の中核となる東西軸の魅力あるまちづくりへの取り組みを進める。〔名古屋駅スーパーターミナル化の推進、「伏見地区まちづくりビジョン」の具体化推進等〕
- ② 都心の新たな賑わいへのエリアプロモーション  
まちづくりと一体での賑わい創出へのエリアプロモーション活動を展開
- ③ 観光・誘客への取り組み  
県、名古屋市や県内各市町等と連携し、産業観光、その他観光・誘客資源の発掘、発信を進める。〔着地型観光商品の造成、匠土産プロジェクト、SNSによる魅力発信等〕

##### (2) 地域と一体となった商業・サービス業の振興

〔な・ご・や商業フェスタ、プレミアム商品券事業等〕

##### (3) 東京オリンピック・パラリンピックの一体的盛り上げの活動

オリパラを機に、当地域が世界に誇る「モノづくり」を内外に改めて発信していくため、諸事業を展開〔「モノ+」プロジェクト〕

#### 2 インフラ整備

##### リニア開業効果を域内にあまねく浸透し 最大化するインフラ整備

- ① 空 港 〔中部国際空港の利用促進と二本目滑走路の早期整備 等〕
- ② 港 湾 〔名古屋港の利用促進及び港湾機能強化、クルーズ船誘致促進 等〕
- ③ 道 路 〔名古屋環状2号線、西知多道路等広域幹線道路の整備促進 等〕
- ④ その他〔災害に対する強靱化 等〕

#### 3 世界交流の拡充と深化

会頭ミッションをはじめ、多様な目的の下に多くの海外ミッションを派遣し、また多くの海外からの来訪客との交流を深め、さらに在名外国公館等との交流を進める。これらを会議所の諸事業に活かすとともに、会員ニーズに応えていく。さらに会員企業の海外ビジネスを支援する。

〔会頭ミッション、航空機・医療機器産業ミッション、食品分野海外進出支援等〕

## III

### —未来産業力— 次世代産業発展・イノベーションの推進

#### 1 次世代産業の育成

当地主力の自動車産業に次ぐ次世代産業の発展を促すため、サプライヤー中小企業に対するビジネスマッチング機会の提供等の参入支援などの取り組みを益々拡大する。

##### (1) 航空宇宙産業

- ① 新規参入、販路開拓支援の拡充・強化〔参入支援講座(座学・視察等)等〕
- ② エアロマート名古屋2019の開催
- ③ MRO(maintenance, repair & overhaul)ビジネス参入支援  
〔MROビジネス研究会活動、国内外への商談会への参加等〕

##### (2) 医療機器産業

- ① 医工連携によるビジネス展開支援(メディカル・デバイス産業振興協議会)  
〔医療現場ニーズと中小企業保有技術とのマッチング促進、医療機器サポートデスク等〕
- ② 「メディカルメッセ」の開催(2019年医学会総会と同時開催)

#### 2 イノベーションの促進

##### (1) デジタル革命等への対応

デジタル革命など「百年に一度の大変革」に対応し、当地がリードできるようになっていくことを目指して、中小企業等への情報提供、中小製造業へのロボット等の活用支援、産学官連携等を通じた社会的ネットワークの形成、ベンチャー・スタートアップの環境整備等の取り組みを進める。

〔AI活用のトライアル支援、ロボット導入に係る人材育成、産学連携モノづくり商談会等〕

##### (2) 知財戦略の推進

中小企業の知財活用マインドの発掘と活用支援  
〔知財総合支援窓口、開放特許・有名商標等のマッチング等〕

##### (3) 環境対策の推進

環境・エネルギー関連ビジネスの情報提供、マッチング機会の創出  
〔名商ecoクラブ、環境ビジネス交流会等〕

## ◆組織基盤の強化〈会員サービスの向上・会員増強〉

- ▽上記諸活動を推進していくため、情報基盤整備、人材育成等による事務局機能の強化を進める
- ▽事業活動や会員サービスを積極的にPRして新規入会を促進